

令和3年度 第1回狛江市基本計画推進委員会会議録

- 1 日 時 令和3年7月6日(火) 午後7時00分～午後9時2分
- 2 場 所 狛江市防災センター 402・403会議室
- 3 出席者 委 員 福島 康仁 委 員 上田 英司
委 員 尾花 尚弥 委 員 小尾 将彦
委 員 八峠 恵子 委 員 落合 香代子
委 員 高橋 良典
事務局 富田政策室長 五十嶺企画調整担当主任
猪野企画調整担当主事
- 4 欠席者 委 員 牧瀬 稔 委 員 猪熊 茂男
委 員 マクリーン 由美
- 5 議 事 1 開会
(1) 市長挨拶
(2) 委嘱状の交付
(3) 委員長及び副委員長の選出
(4) 諮問
2 令和3年度 狛江市基本計画推進委員会の進め方について
3 評価対象施策の選定について
4 その他

6 会議概要

1 開会

(1) 市長挨拶

—市長より挨拶—

(2) 委嘱状の交付

—委嘱状机上交付—

(3) 委員長及び副委員長の選出

本委員会は新たに設置した委員会であり、今回の会議が初回であることから、事務局からの推薦を提案し、了承。

委員長に福島委員、副委員長に上田委員を選出。

(4) 諮問

—市長から福島委員長に諮問—

2 令和3年度 狛江市基本計画推進委員会の進め方について
—事務局から説明—

【委員】

資料2の4ページ目の全体スケジュールで、9月の「中旬」が2マスになっているが、9月中旬は会議を2回実施するということか。

【事務局】

9月中旬の2週目、3週目辺りに1度開催したいということであり、9月は上旬、下旬合わせての3回の実施を予定している。

9月はタイトなスケジュールとなっているが、本委員会はオンラインでも御参加いただけるので、柔軟に対応したい。

3 評価対象施策の選定について
—事務局から説明—

【委員長】

以前の外部評価委員会では、事務事業を評価していたが、本委員会は施策評価として、事務事業の1つ上の施策を評価していく。御意見等あるか。

【委員】

外部評価委員会の際は、資料6の3ページ目にある分布図で、満足度が低く、期待値が高いものを評価の対象とした。初回なので、満足度が低くて期待値が高いものを選定するのがいいのではないか。その点で考えると「No.8 商工業の振興」等はどうか。また、「No.12 妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援」についても4ページを見ると満足度でBグループの中間値に属するが、その中でも一番低くなっている。

【副委員長】

選定するものとして、道路整備等のハード面を評価しても、その後の予算編成等に反映させにくいため、実効性のない行政評価となってしまう。サービスや事業等のソフト面の方が、その後の予算編成等に反映させやすい。また、「No.18 生活困窮者への支援」は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国的にも関心が高いように思えることから、選定してもいいと思う。

【委員】

子どもの貧困等も話題になっている。資料6中の「No.12 妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援」や「No.18 生活困窮者への支援」は子育て関連であるが満足度は低めになっている。ただし、関わる人や年代も限られているので、市民全体に関わるものを選定してもいいと思う。

【副委員長】

資料6の6ページにあるグループ別比較表で見ると、今挙げた「No.8 商工業の振興」、「No.12 妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援」、「No.18 生活困窮者への支援」を当てはめてみると、それぞれ「満足度が低い（左上）」、「期待値が高い（右上）」、「満足度が中間値（左下）」から選定されている。「期待値が中間値（右下）」から選定できればバランスが良くなるのではないかと。

【委員】

防災関連はどうか。先日起きた熱海市での土石流の件もあり、関心が高い。狛江市は多摩川もあるため、市民の方に更に防災意識を持っていただくためには、ハザードマップを渡すだけでなく、より防災意識の向上のために、どのようにしていくのか考えていくべきだと思う。

【委員長】

資料5の18ページを見ても、「施策2-① 防災体制の充実」には重点化する方向性が4つの内3つ設定されているので、市としても力を入れている部分であるし、満足度も高いが期待値も高い。最近は様々な災害が起こっており、市民目線で防災関連の評価を行うことは重要なのではないかと。副委員長から意見のあった資料6の6ページ目にある右下のBグループでいうとどれがいいか、御意見あるか。

【副委員長】

資料7の11ページを見ると、自殺死亡率の指標がかなり多いように見える。新型コロナウイルス感染症の影響も大きいと思う。こういった部分にも注目するのはどうか。

【事務局】

まちの姿1～7の中の重点化した方向性を選定いただくが、それぞれ異なるまちの姿で選定するとバランスが良くなるようにも思える。

【副委員長】

現時点で候補に挙がっていないまちの姿6の芸術・文化系は割りと満足度が高い。

【委員長】

市の将来都市像には「文化育む」という文言があるが、満足度が全体的に高い。反対に、満足度が低いものは、「まちの姿5 いつまでも健やかに暮らせるまち」に集中している。来年度以降も「まちの姿5」は評価対象に入ってくると思うので、毎年度1つずつ選定してもいいかもしれない。今のところ入っていないのが「まちの姿1 人権が尊重され、市民が主役となるまち」、「まちの姿6 生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」及び「まちの姿7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち」となる。「水と緑」というフレーズは以前から入っているが、比較的満足度は高い。事務局からは何か提案はあるか。

【事務局】

市としても、市政情報の発信として、市の取組が市民の皆様に伝わっているかという部分は1つ課題としている。前期基本計画に掲げる「まちの姿1」にある「施策1-③ 市政情報の共有」を本委員会で評価していただき、現状把握のほか、提言をいただけると今後活かせるように思う。

【副委員長】

「まちの姿1」は始めに掲げられているまちの姿で、市として重要視していることが伺えることから、この分野から選ぶのも良いかもしれない。

【委員長】

ここまで出ているのが、前期基本計画に掲げる施策として「施策1-③ 市政情報の共有」、「2-① 防災体制の充実」、「3-③ 商工業の振興」、「4-③ 妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援」、「5-⑤ 生活困窮者への支援」となっているがいかがか。

【委員】

商工業の振興は常に課題となっているが、提言によって、まちの規模を考えても大きな成果は得にくいので、選定するのはどうかと思う。「施策1-③ 市政情報の共有」に関連するものは今まで評価したことはあるのか。

【事務局】

過去に評価したものについては、すぐには分かりかねるが、市政情報の発信については、ここ数年で形態が変わってきているため、その部分についても評価していただければと思う。

【委員】

「3-③ 商工業の振興」については新型コロナウイルス感染症関係が大きく影響が出ているものの1つなので、挙げさせていただいた。成果が出にくいという部分については理解できるが、新型コロナウイルス感染症の影響を見る意味でも、入れてみるのもどうか。

【委員】

新型コロナウイルス感染症の観点から見ていくのであれば良いが、期待する成果は出ないと思われる。

「施策7-① 水と緑の快適空間づくり」は市の将来都市像に「水と緑」という文言も載っており、資料6中の満足度も高いが、今後大きく変化があるものだと思うし、数値と実体は大きく違うように思える。

【委員長】

資料6中「No.22 水と緑の快適空間づくり」の満足度は比較的高いようにも見えるがいかがか。

【委員】

都会の割りに緑が多いとは言われているが、実際には数値を見ると緑が多いとは言えない状況にあると思う。

【委員長】

前期基本計画に掲げる「施策7-① 水と緑の快適空間づくり」には重点化された方向性が2つあるが、1つは公園等のハード面になるので、先の意見で出たように成果は出にくいと思われる。

【委員】

市として、今後グリーンインフラに取り組んでいくのであれば、評価してみるのもいいと思う。

【委員長】

狛江らしさという視点で評価するため、その点についても評価できればいいのではないか。

評価を実施する重点化した方向性を選定するに当たり、まずは、前期基本計画に掲げる施策が決定した。施策としては、「施策1-③ 市政情報の共有」、「施策2-① 防災体制の充実」、「施策4-③ 妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援」、「施策5-⑤ 生活困窮者への支援」、「施策7-① 水と緑の快適空間づくり」となっている。これより、5つの施策から重点化された方向性を選定したい。

「施策1-③ 市政情報の共有」は「方向性1 発信力の強化・双方向による共有」が重点化された方向性のため、これを対象とする。「施策2-① 防災体制の充実」は重点化された方向性が3つあるが、いただいた御意見も踏まえると「方向性3 風水害に対する備えの強化」を対象とするのが良いのではないか。「施策4-③ 妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援」は重点化した方向性が3つあるがいかか。

【委員】

施策及び資料7の取組内容から、1つ目の「方向性1 切れ目のない支援体制の確立」が良いのではないか。

【委員長】

「方向性3 子育て家庭への支援の充実」になると経済的な支援が主なものになるので、やはり「方向性1 切れ目のない支援体制の確立」が好ましい。「施策5-⑤ 生活困窮者への支援」は「方向性3 子どもの貧困の連鎖の防止」が重点化した方向性になっており、本方向性で経済的な支援についても評価していく。「7-① 水と緑の快適空間づくり」はソフト面の「方向性1 緑の保全・創出」とする。これで進めてよるしいか。

《各委員了承》

【事務局】

今後の評価の順番については、取組内容のバランスを考慮しながら委員長及び事務局一任でお願いしたい。

4 その他

－候補日を8月3日あるいは10日とし、欠席委員の予定確認後事務局から後日連絡－